

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2014/12/31	2015/2/27	2015/3/20	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	17,450.77	18,797.94	19,560.22	19,565.44	2015/3/20	8,238.96	2012/6/4
NYダウ	ドル	17,823.07	18,132.70	18,127.65	18,288.63	2015/3/2	12,035.09	2012/6/4
円/ドル	円	119.78	119.63	120.04	122.03	2015/3/10	77.13	2012/9/13

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ 日経平均は19,500円台へ続伸 ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+305.97円 (+1.59%)、TOPIXが+20.18ポイント (+1.29%) となり、日経平均は19,500円台へ続伸しました。業種別(東証33業種)にみると、その他製品、サービス業、電気機器など26業種が上昇する一方、鉱業、水産・農林業、鉄鋼など7業種が下落しました。

週明け16日の日本株市場は、原油安や米国株安を背景に下落して始まりしました。しかしその後週末にかけて、①米国の早期利上げ観測が後退したことなどをを受けて欧米株式市場が上昇したこと、②ドル円が120円前後で安定的に推移したこと、③任天堂とディー・エヌ・エーの業務提携の発表などをを受けて日本企業の変化に対する期待が高まったことから、日経平均は堅調に推移し、年度来高値を更新して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目		前回
3月24日	Tue	米国	CPI(消費者物価指数)(除食品&エネルギー/前年比)	2月	1.6%
			新築住宅販売件数	2月	481千件
3月25日	Wed	中国	HSBC中国製造業PMI	3月	50.7
		米国	耐久財受注(前月比)	2月	2.8%
3月27日	Fri	日本	失業率	2月	3.6%
			全世帯家計調査 支出(前年比)	2月	-5.1%
			CPI(全国消費者物価指数)(除生鮮/前年比)	2月	2.20%

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 週後半に2万円回復を予想する ~

今週の日本株市場は、先週に開催されたFOMCで米国の早期利上げ懸念が遠のいたことで、欧米の株式市場が堅調に推移していることや、相次ぐ賃上げ報道を受けて個人消費が回復するとの期待感などから上昇基調が続き、26日の3月・9月期決算銘柄の権利付き最終売買日には、日経平均で大台の2万円を回復する可能性が高いと予想しています。ただ、権利落ち日の27日には、配当落ちを埋めるとの市場予想に反し、大きく下落するリスクがあるとみています。経済指標では、米国で24日に発表されるCPI(消費者物価指数)、新築住宅販売件数、25日の耐久財受注、中国では24日のHSBC製造業PMI、日本では27日のCPIなどが重要と考えています。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会
URL: <http://www.alamco.co.jp>

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。